

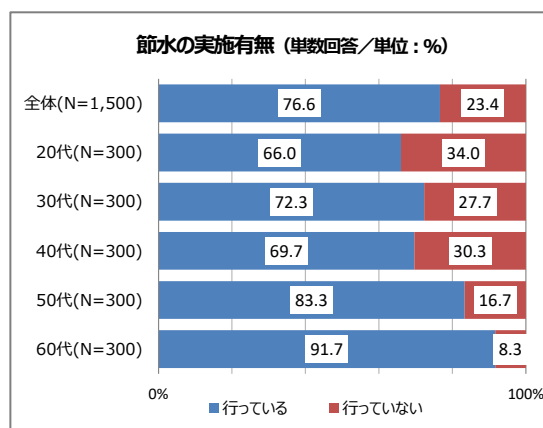
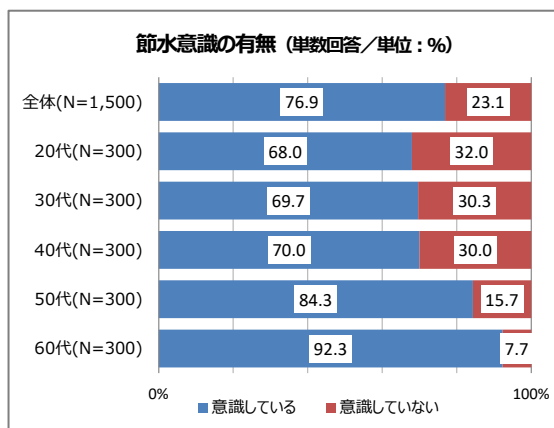
## 節水の意識と行動

### Q.日常生活で節水を意識しているか？（2択）

### Q.日常生活で節水を実施しているか？（2択）

#### ◇意識と行動、ともに40代が減少して20代・30代寄りの数値に

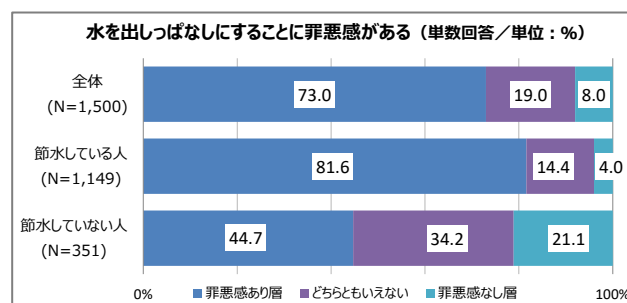
節水への意識と行動は、節水を「意識している」が76.9%、節水を「行っている」が76.6%となり、昨年からの大きな変化はありませんでした。年代別では、高年代層の数値が高いという例年同様の傾向はあったものの、これまで50代・60代寄りだった40代の数値が、節水を「意識している」70.0%（昨年比12.3ポイント減）、節水を「行っている」69.7%（同10.3ポイント減）と大きく減少し、20代・30代寄りの数値となりました。



### Q.水を出しっぱなしにすることに罪悪感があるか？（6択+どちらともいえない）

#### ◇節水を行う要因には罪悪感も関与？

水に関する考え方への共感度を探る趣旨の設問の中で、「水を出しっぱなしにすることに罪悪感がある」についてどう思うかをたずねたところ、「罪悪感がある人」（「とてもそう思う」+「そう思う」+「ややそう思う」）は73.0%。これを節水の実施有無でみると、節水実施者で「罪悪感がある人」は81.6%、非実施者では44.7%となり、罪悪感が節水を行う要因の一つになっている可能性がうかがえました。



### Q.日常生活で実践していることは？（14択+その他+実践していることはない）

#### ◇上位項目に変化なし

節水や水の再利用方法に関する項目を選択肢にあげ、日常生活で実践していることとして聞いたところ、1位「歯磨き中に水を出しっぱなしにしない」（63.3%）、2位「シャワーを浴びるときは、こまめに水を止めながら浴びている」（61.7%）、3位「水洗トイレの大小レバー・ボタンを使い分ける」（40.9%）、4位「水洗トイレでは消音のための水を流さない」（36.5%）、5位「風呂の後のお湯を洗濯や掃除等に使い回している」（30.5%）となり、上位5項目の順位に変化はありませんでした。

